

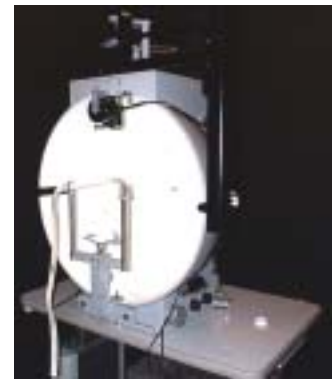
# 視野検査

(30分~40分)

視野の欠損（見えない部分）の存在の有無を測定します。  
視野とは、眼を動かさずに見ることのできる範囲をいいます。固視点を中心に正常視野の広さは、外方  $100^{\circ}$  下方  $70^{\circ}$  内方及び上方  $60^{\circ}$  ありますが、最も中心部分の視力が良く（感度が良い）中心から少し外れると、視力は低下します。

## 量的動的視野検査（全体）

通常視野検査といえば、この視野をいいます。  
中心から眼を動かさずに見てもらい、視野の広さと感度を測定します。  
検者が視標を動かして検査するため、時間は両眼で30~40分かかります。



ゴールドマン オリジナルスリットランプ 900BQ

## 静的視野検査（中心）

中心  $30^{\circ}$  以内を詳しく検出。  
光点がランダムに出され、見えた点を答えます。  
機械が自動に操作するため、時間は両眼で20分くらいです。



ハンフリーフィールドアナライザー HFA II

## 検査方法

検査しない方の目をガーゼで被います。中心にある固視点を目を動かさずに見てもらい、少しでも灯りが見えたらブザーを押してもらいます。  
光の大きさ、明るさを変えて検査し、視野の広さと感度を測定します。

## 視野に変化をきたす眼疾患

緑内障・黄斑部疾患・視神経疾患・網膜色素変性症など疾患により特有の変化が見られるため、検査結果から疾患の診断を行ったり、また脳疾患の早期発見にもかかわる重要な検査の1つです。